

## Contents

02-05 商品ものがたり  
**コープみんき 共同開発** コープのエクアドル産バナナ



▲今回、取材で訪れた先の1つ  
 「ANAフーズ株式会社」

06-07 そうなんや！生協  
 コープ山科新十条の  
 見どころを一挙ご紹介！

08-09 食とくらしの安全・安心  
 ・教えて！森田さん 食の安全・安心  
 「食品表示を見ていますか？」  
 ・くらしの安全・安心  
 「消費生活相談は『188』へ」  
い や や

10-11 information / 被災地の今

12 2020年度コープサポーター募集

13-15 読者投稿コーナー ほっとTIME  
 16 四季彩ごはん



バナナとベリーミックスの  
 ヨーグルトバーク



商品ものがたり

農園から熟成まで  
 こだわりが育む  
 バナナ愛

▲バナナは濃緑色の時期に軸ごと収穫します。収穫後、バナナは作業場に運ばれ品質の確認を経て洗浄、カット作業に移ります



コープみんき 共同開発 コープのエクアドル産  
 バナナ 650g前後

宅配にて毎週企画  
 ※企画回、規格とも変更になることがあります  
 店舗にて取り扱い

## 「価格」と「品質」に 込められた思い

日本の家庭でおなじみの果物「バナナ」。国内で流通するバナナの99.9%が輸入品です。2018年の輸入先をみると、フィリピン84%、エクアドル11%、メキシコ、グアテマラ、ペルーなどが続きます。

10年ほど前までは、フィリピン産のバナナが輸入量の9割以上を

占めていました。ところが、度重なる干ばつや病害による耕作地の減少をはじめ、他国の買い付けの増加、現地の人件費上昇といった状況が顕在化。「バナナを取り巻く環境の変化を受けてフィリピンへの一極集中を見直し、他の国々の産地に目を向けることになりました」と日本生活協同組合連合会（以下、日本生協連）農畜産部の坂倉寛武さかくらひろむさん。目指したのは、利用しやすい価格とボリューム感、産地の園地を

指定し肥培歴や栽培手法を含む原料の管理といったトレース、つまり追跡が明確な商品です。  
 日本生協連は、バナナの輸入と熟成加工・販売を手掛ける商社「ANAフーズ」とともに、産地や生産者の選定や、現地の視察を重ねました。こうして約1年をかけ、2017年春に誕生したのが、「年中安定した価格で利用できる」という位置づけで展開する「コープのエクアドル産バナナ」です。